

クラス	321	担当教員	南 有紀
テーマ	自らの専門性に立って卒業研究のテーマを設定する		
著書・論文	「関係者の支えあいの中で育つ A くん」(『子どものねがいと教師のしごと』全障研出版部) (2021)		
研究課題等	「肢体不自由児の認知面の実態把握にかかわる考察」日本福祉大学教職課程研究論集 第 22 号 (2022)		
	「訪問教育の現状と課題IX～訪問教育に関する第 9 次全国調査報告～」(2022)		
	研究テーマ；障害の重い子ども(重度重複障害児)の発達と教育、特別支援教育		
ゼミナール概要			
キーワード：発達 卒業研究			
<p>目的、内容、方法、授業計画等：</p> <p><目的> 卒業研究に向けた自身のテーマに対して、主体的かつ創造的に向き合うことで専門性を獲得する。 子どもの発達の理解を深め、学問を共同で学習・研究する方法を身に付ける。 他者の意見に耳を傾け、自身の考えだけでなく客観的な視点から意見を述べるができるようになる。</p> <p><内容> 障害児教育、特別支援教育の教育実践を学ぶ。 障害のある子ども、特別な教育的ニーズを必要とする子どもの実態把握と支援について考える。 障害児教育の歴史に学ぶ。 障害の重い子どもの教育や福祉・医療について学ぶ。 自らの興味関心について情報を収集し、研究テーマを追究する。 等</p> <p><方法> 実践記録を読む。 担当教員による講義。 研究についての発表 意見交換 特別支援学校、障害児者施設の見学 等</p> <p><授業計画> 上記内容に沿って計画する。 講義内容、見学等はゼミ生の興味関心を聞いて、演習計画の詳細を検討する。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<p>長年障害の重い子どもの教育に携わってきた経験から、特別支援教育の現場のことをできるだけ伝えたいと考えています。教育実践では、how-toではなく、子どもをどのように見るか、そこから授業づくりをどのように進めるかという大きな課題を意識していくことが大切です。子どもに関わってきた経験から、私自身がどのように子どもを見つめて、どのように子どもに関わってきたのか、授業づくりで大切にしてきたことは何か等、実践をふまえて考えていることを皆さんに伝えながら、みなさんの興味関心から卒業研究について一緒に考えていきたいと思えます。障害の重い子どもの発達と教育が私の研究課題ですが、特別支援学校での教育相談担当の経験等から、広く障害のある子ども、教室で気になる子どものことなど、特別なニーズのある子どものことも視野に入れていきます。一緒に学び、考えていくゼミにしたいと思います。共に学んでいきましょう。</p>			